

令和3年度賛助会員 令和3年1月1日～令和3年3月31日入金分

賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助	賛助会員名	賛助
古谷 譲 様	2口	森下 緑 様	1口	渡邊佳子 様	1口	杉山精展 様	2口
宮崎照子 様	2口	宮崎貴嘉(正) 様	2口	伊藤賢二 様 (伊藤楽器)	法人2口	岡村道枝 様	10口
牧野英一 様	2口	森川 清 様	2口	高野 昇 様	1口	飯田藤治 様	2口
高橋昭五 様	4口	柳原健児 様	1口	岡村勝巨 様	1口	森 一 様	1口
森山英隆 様	1口	櫻井宣明(龍禅寺) 様	1口	安仁屋美樹子 様	1口	金子多鶴子 様	1口
池田禮子 様	1口	(株)サノホーム 様	法人1口	谷岡憲隆 様	1口	永瀬美都子 様	1口
高橋 孝 様 (行政書士)	1口	*笹森楽譜 様	8口	松田耕二 様	2口	三浦はるか 様 (ピアニスト)	1口
小澤 均 様	1口	石岡SE 様	法人1口	関口雅子 様	1口		

お詫び 昨年、森山英隆様の2口をご芳名しませんでした、また、杉山精展様の4口が2口と明記されていまして。水戸SEの高木周二様の個人2口が水戸SE法人1口です。大変、失礼致しました。

*笹森先生の遺言により、先生の編曲物を特価で各団に配布しています。そのお金をご遺族のご容赦のもと、賛助会に寄贈するものです。皆様いつも、ご協力ありがとうございます。



アンナプルナサウス (7,219m)

『山は音楽と共に憩いの場』 習志野SE 上田 繁 2021.3.12

昨今のコロナ旋風に、老後の貴重な時間が奪われ、悔しさを感じます。失った時間を取り戻す唯一の方法は、元気で老後の時間を少しでも伸ばすしかない。そんな思いを込めて、私なりの山との関わりを綴って見ます。

山との出会いはさておき (Vol/74)、昨年の「緊急事態宣言」以降も、三密を避けて、マイカーで山へ足を運ぶ回数を増やしました。俗に「NO密レジャー」なる造語も生まれましたが、山は、“うつさないうつされない”場所として、貴重な場所となっています。遠出が出来ないこともあって、マイカードライブの範囲で、近隣の山々(金峰山・ハヶ岳・半月山など)の登山や、冠雪の北アルプス・南アルプスの山岳写真撮影に車を走らせました。

山と音楽とは、趣味として補完性があり、山への往復6時間程のドライブでは、たっぴりと音楽CDが聴けますし、山頂ではケーナ(南米アンデスの民族楽器)を吹くよう心掛けています。初めて山で吹いた時、思いがけない発見がありました。標高により気圧が吹奏楽器の演奏に影響を与えるということです。毎年8月、親しい友人の「山小屋コンサート」に、昨年も4度目の登山・拝聴を重ねましたが、古今の名曲を、2,400mの標高を感じさせない演奏には、尊敬の念さえ抱かせます。

コロナのステイホームは、山の写真整理と紀行文とを完成させるまたとない時間となりました。コロナの直前に行った「ヒマラヤトレッキングII(2回目)」と「イタリア・ドロミテ」の写真集と旅行記とに十分な時間を掛け、満足なものに仕上がりました。山の記録は、心の感動と共に写真に依存しますが、時間が経つと次第に感動は写真に張り付き(音楽が録音・録画として記録されるように)。コロナによる時間ロスは、心掛けによりかなり有効活用できますが、どうしようもないのが海外トレッキングです。終息を待って直ぐにも出掛けられる準備を怠りなく心掛ける日々です。



🎵 編集後記 🎵

新緑の芽ぶく頃となりました。コロナ禍の中であっても自然のいとなみは廻ってきます。普通に生活出来る、また、平凡に生活出来るのがいかに幸せなことか、コロナ禍や豪雨被害地震災害などで改めて感じます。ことしは、楽譜ガイドの発刊もあり、全国大会を催す年になります。楽譜プロジェクトにご尽力くださった方本当にご苦労様でした。「ひびきあい76」に投稿してくださった方ご協力ありがとうございます。また、よろしくお願いします。「ひびきあい75」で「楽譜ガイド1921年度版」は誤りで「楽譜ガイド2021年度版」が正です。皆様、全国大会でお会いいたしましょう！

編集長 宮崎 正